

Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定(変額保険用) 月次運用報告書(2008年12月)

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
2008年12月における特別勘定(変額保険用)の運用状況をご報告致します。
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.axa.co.jp/life/>

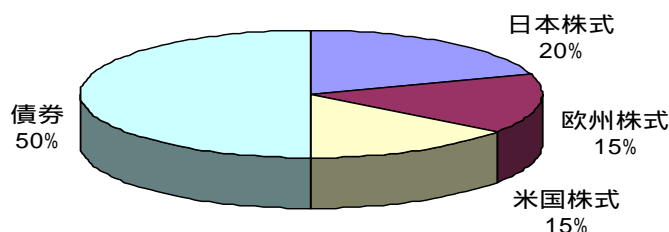
特別勘定の運用方針

日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。基本的な資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。特別勘定の運用は、各投資信託(ファンド)の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社ファンドマネジメント・チームが行います。特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社(運用協力会社)の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

目次

特別勘定の運用方針	1
運用協力会社のご紹介	1
運用環境について	2
特別勘定の資産内容について	3
各ファンドについて	4-6
注意事項	6
契約月別の運用実績の例	7-9

(グローバルミックスの資産配分比率)



* 上記は設定当初の資産配分比率です。
* 資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

運用協力会社(ファンドの運用会社)のご紹介

アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていきますので、合計等と合致しないことがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

運用環境について(2008年12月)

【日本株式市場】

日本株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、日経平均が+4.08%、TOPIXが+2.93%となり、東証2部および日経ジャスダック平均はそれぞれ0.38%、+0.49%となりました。月初は実態経済の急激な悪化を改めて確認する指標が相次いだことから下落し、日経平均で8,000円を割り込みました。しかし、中旬には米国自動車大手への政府による救済方針が発表されたことや、日米金融当局による政策金利引き下げなどから市場は反発し、月間ベースでは7ヶ月ぶりの上昇となりました。当月は円高が進んだため、主要海外市場に対しドルベースの日本株式は大幅高となりました。

東証33業種の動きでは当月は前月と同様の動きとなり輸送用機器およびゴム製品が大きく下落した一方、原油安の恩恵を受けたパルプ・紙は大きく上昇する展開となりました。需給面では12月は外国人投資家が連続4ヶ月の売り越しとなり、また、国内個人投資家も売り越しとなりました。一方、信託銀行が買い越しでした。

【米国株式市場】

米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は+0.78%、ダウ平均株価は0.60%、ナスダック指数は+2.70%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

米国株式市場は、ほぼ横ばいの展開となりました。月初は全米経済研究所は「米国が07年12月に景気後退入りした」と正式見解を発表し、株価の下落要因となりました。またISM製造業景況指数が大幅悪化を示したことなどから、世界的な景気後退の深刻化への懸念が強まり、急落となりました。しかし、月中は、米国自動車大手救済案が上院で事実上廃案となったものの、政府は金融安定化法を活用し、救済見込みがあることを発表したことや、FOMC(米連邦公開市場委員会)による予想外のゼロ金利政策に加え、声明文で政府機関債やMBS(住宅ローン担保証券)買取り規模の拡大が示唆されたことを好感し、株価は急上昇しました。月中以降は、原油価格の続落を受けた石油関連銘柄の大幅下落や、大手金融機関の格下げが相次ぎ、株価が下落する局面もありましたが、月末にかけて中東情勢が緊迫化すると原油価格が急反発し、石油関連銘柄を中心に株価は上昇しました。

【欧州株式市場】

欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は+0.63%、英FT100指数は+3.41%、仏CAC指数は1.37%、独DAX指数は+3.01%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

欧州株式市場は、月初に11月のユーロ圏製造業景況感指数の悪化などから急落しました。その後欧州中央銀行(ECB)、イングランド銀行をはじめ、欧州の各国中央銀行では同時利下げを行ないました。各国の政策金利の下げ幅は、ユーロ圏が0.75%引き下げて2.5%に、英国は1.0%引き下げて2.0%に、スウェーデンが1.75%引き下げて2.0%に、また、デンマークが0.75%引き下げて4.25%となりました。欧州の各国中銀が3ヶ月連続で同時利下げを行なうのは異例の措置となります。月中はスイス中央銀行も利下げしてゼロ金利政策を採用し、従来の0.5%~1.5%から0.5%引き下げ、0.0%~1.0%としました。月末はクリスマス後に米国株式市場が上昇したことや、イスラエルによるガザ空爆による原油高などを受けて堅調に推移し、反発基調で月を終えました。業種としては、電気通信サービスや公益が上昇する一方、金融セクターは下落しました。

【国内債券市場】

国内債券市場は、月中旬までは方向感のない推移となったものの、その後、月末に向けて日米の金融緩和策により、長期金利は急低下しました。月前半は、米金融当局の米長期国債買入れ言及等が米債金利低下を促し、国内債券にも金利低下圧力となりました。一方で、補正予算等からの新年度の国債増発懸念が需給悪化懸念につながり、金利は下げ渋り、10年国債利回りは1.3%台後半での推移となりました。月後半に入ると、米国が事実上ゼロ金利まで利下げを行ない、量的緩和政策を表明したことから、米長期金利は歴史的低水準まで低下しました。また、日銀も政策金利を0.1%まで下げ、長期国債買入れ増額やCP買い切り開始等追加的な金融緩和政策を発表したことから、急激な金利低下につながり、10年国債利回りは、月末に1.2%を割り込みました。

(参考指標)

		2008年11月末	2008年12月末	変化率
日本	TOPIX(東証株価指数)	834.82 ポイント	859.24 ポイント	2.93%
	日経平均	8,512.27 円	8,859.56 円	4.08%
	新発10年国債	1.395 %	1.165 %	0.230低下
米国	NYダウ	8,829.04 ドル	8,776.39 ドル	-0.60%
	S&P500	896.24 ポイント	903.25 ポイント	0.78%
	NASDAQ	1,535.57 ポイント	1,577.03 ポイント	2.70%
	10年国債	2.920 %	2.212 %	0.708低下
欧州	FT100	4,288.01 ポイント	4,434.17 ポイント	3.41%
	CAC40	3,262.68 ポイント	3,217.97 ポイント	-1.37%
	DAX	4,669.44 ポイント	4,810.20 ポイント	3.01%
	独10年国債	3.258 %	2.951 %	0.307低下
為替	米ドル/円レート	95.54 円	91.03 円	4.72%円高
	ユーロ/円レート	123.22 円	127.96 円	3.85%円安

* 各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利(日本)、ジェネリック米国利回り10年(米国)、ドイツ国債10年の利回り(欧州)を表示しております。

* 為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

特別勘定の資産内容について(2008年12月)

【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のINDEX」とは、弊社が変額保険「Global Mix」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。



日付	INDEX
08/01/31	0.935
08/02/29	0.941
08/03/31	0.914
08/04/30	0.947
08/05/31	0.959
08/06/30	0.927
08/07/31	0.922
08/08/31	0.916
08/09/30	0.851
08/10/31	0.789
08/11/30	0.777
08/12/31	0.782

【騰落率】

過去1ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去2年	過去3年	設定来
0.68%	-15.58%	-20.01%	-21.48%	-18.97%	-21.76%

注) 設定日である2000年8月1日を1.00としたパフォーマンスを示しています。

注) 騰落率とは、一定期間における運用実績の変動率のことです。

注) 上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。

注) この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

【特別勘定資産の内訳】

項目	金額 (千円)	構成比 (%)
預貯金・コールローン	598,558	1.9
日本株式型投資信託 (アクサR)	3,122,473	10.1
日本株式型投資信託 (アクサR)	4,634,014	15.0
米国株式型投資信託(アクサR)	4,443,432	14.4
欧州株式型投資信託(アクサR)	2,944,507	9.5
日本債券型投資信託(アクサR)	14,585,028	47.2
その他	597,949	1.9
特別勘定合計	30,925,965	100.0

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っていません。

【保有契約高】

項目	件数 (件)	金額 (千円)
有期型	1,056	2,447,688
終身型	53,535	285,544,264
合計	54,591	287,991,952

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。

【特別勘定の解説】

当特別勘定は原則として、50%を安全資産での運用にしております。

積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の25%、欧米株式で25%の資産配分といたします。

リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

【今後の運用方針】

特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

(アクサ生命保険株式会社 ファンドマネジメント・チーム)



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

日本株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】: わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: TOPIX

【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが+2.93%であったのに対し、当ファンドは、+3.51%となりました。

当月の日本株式市場は、株式の売買が活発に行なわれた銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはマイナスへ寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、上昇した保険をベンチマーク対比で多めに保有していたことや、下落した金属、総合商社を少なめに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

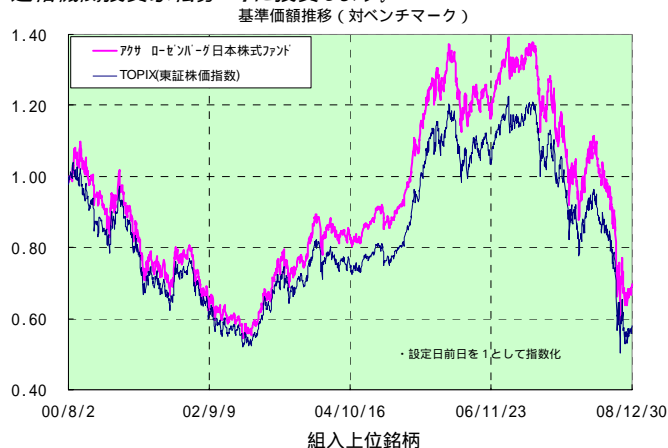
個別銘柄では、下落した日本電産(6594)、オリックス(8591)を保有していなかったことや、上昇したカネカ(4118)を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。

割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

日本バリュー株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】: わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: TOPIX

【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが+2.93%であったのに対し、当ファンドは、+2.46%となりました。

当月の日本株式市場は、株式の売買が活発に行なわれた銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはマイナスへ寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、上昇した保険と石油をベンチマーク対比で多めに保有していたことや、下落した総合商社を保有していなかったことはいずれもプラスに寄与しました。

個別銘柄では、下落した日立製作所(6501)、ブリヂストン(5108)や富士フィルムホールディングス(4901)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けのファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

欧州株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

[運用方針]: 幅広い投資対象(欧州約3,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

[ベンチマーク]: MSCI 欧州株式指数(為替ヘッジあり)

[運用状況]

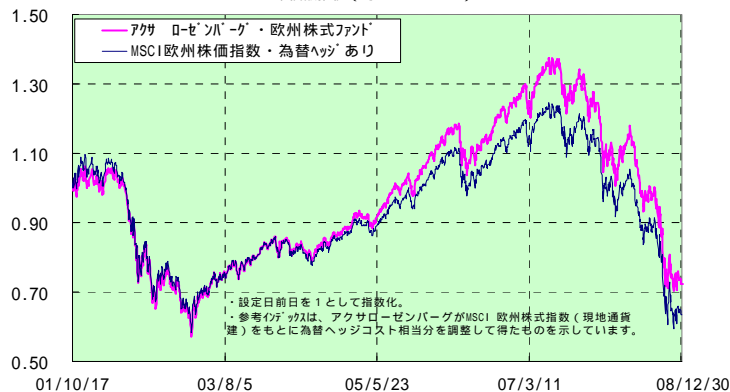
当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が 0.73%であったのに対し、当ファンドは 2.32%となりました。

当月の欧州株式市場は、企業の借入れが大きな銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークに比較して少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、上昇した移動体通信をベンチマーク対比で多めに保有していたことや、下落したその他金融、金属を少なめに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

個別銘柄では、下落したエネルギーのBP PLC(イギリス)、素材のUPMキムネネル(フィンランド)や保険のロイヤル・アンド・サン・アライアンス・インシュアランス・グループ(イギリス)をベンチマーク対比で多めに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	BP PLC	エネルギー	3.3%
2	ネスレ	食品・飲料・タバコ	2.4%
3	トタル	エネルギー	2.2%
4	ロイヤル・ダッチ・シェル PLC-A SHS	エネルギー	2.1%
5	エーオン	公益事業	2.0%
6	ボーダフォン・グループ PLC	電気通信サービス	2.0%
7	サファイ・アベンティス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.9%
8	ノバルティス AG-REG SHS	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.9%
9	テレフォニカ	電気通信サービス	1.8%
10	HSBC ホールディングス	銀行	1.8%
合計			21.4%
組入銘柄数			279銘柄

* 上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

米国株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

[運用方針]: 幅広い投資対象(米国約6,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

[ベンチマーク]: S & P 500(為替ヘッジあり)

[運用状況]

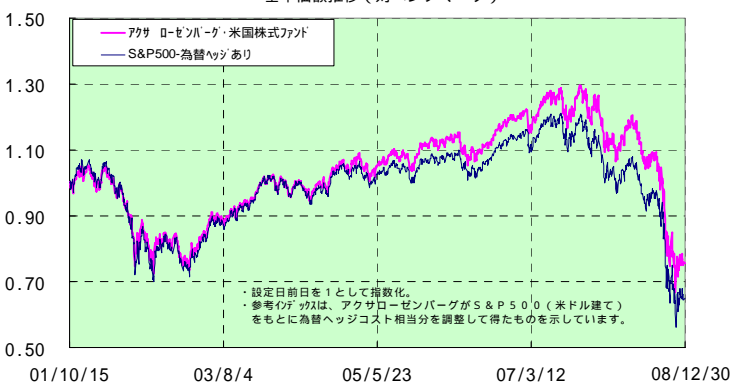
当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が 2.21%であったのに対し、当ファンドは 1.80%となりました。

当月の米国株式市場は、企業規模の大きい銘柄が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。

運用協力会社独自の業種別では、下落した石油をベンチマーク対比で多めに保有していたことや、上昇したREIT(不動産投資信託)を保有していなかったことや、薬品を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。

個別銘柄では、上昇した資本財のハネウェル・インターナショナル、消費者サービスのヤマハ・プランズ、ヘルスケア機器・サービスのセントジュード・メディカルをベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



組入上位銘柄

	銘柄	業種	比率
1	エクソンモービル	エネルギー	4.8%
2	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	2.3%
3	ウォルマート・ストアーズ	食品・生活必需品小売り	2.0%
4	プロクター・アンド・ギャンブル	家庭用品・パーソナル用品	2.0%
5	シェブロン	エネルギー	2.0%
6	AT&T	電気通信サービス	1.9%
7	ゼネラル・エレクトリック	資本財	1.7%
8	IBM	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.6%
9	ジョンソン・エンド・ジョンソン	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.5%
10	ベライゾン・コミュニケーションズ	電気通信サービス	1.4%
合計			21.2%
組入銘柄数			292銘柄

* 上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

日本債券ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】: 主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: 日興債券パフォーマンス・インデックス中期総合

【運用状況】

当月の当ファンドは+0.89%となり、ベンチマークは+0.88%となりました。
急速な企業業績の悪化は、景気後退の深度を深めるだけでなく、雇用問題にまで発展し、政治経済を疲弊させています。未曾有の景気後退をもたらしている米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題や金融不安の混迷は、出口が見えない状況です。主要国地域は、形振り構わぬ対策を講じているものの、市場の回復には時間調整が必要です。従って、デュレーション戦略は中立とし、パフォーマンスに大きな寄与はありませんでした。対国債利回り格差拡大が縮小傾向となったことから、社債保有はわずかながらプラスの寄与となりました。インフレ連動債は月前半に大きく売り込まれたものの、月末に向けて持ち直し、大きな寄与はありませんでした。全体ではベンチマーク比プラスのパフォーマンスとなりました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



【今後の運用方針】

日銀は、米国に歩調を合わせるように利下げを行ない、景気悪化を食い止めるため、断固たる姿勢をとっています。日本の銀行は、海外の金融機関と比較すると相対的に健全さを保っているものの、金融緩和策を受けて信用創造を拡大する余力には乏しく、金融緩和策の実体経済への波及は緩やかなものにならざるを得ないと思われます。従って、今後の国内経済の更なる悪化懸念は払拭できず、日銀は世界的な金融危機や景気後退に対処するため国際協調姿勢を強めるものと考えます。また、更なる緩和的な対策を講じる必要に迫られると見えています。当ファンドでは、国内要因、外的要因の影響等を注視し、金融政策の影響も考慮しつつ運用を行っていく方針です。

信託財産の構成

	組入比率	デュレーション
公社債	99.9%	4.37年
短期資産等*	0.1%	0.00年
合計	100.0%	4.37年

*債券先物を含む

信託財産の内訳

	組入比率	デュレーション
国債	75.3%	4.92年
地方債	0.0%	0.00年
特殊・財投債	6.3%	2.98年
金融債	0.6%	1.47年
社債等	17.7%	2.65年
コールローンその他*	0.1%	0.00年
合計	100.0%	4.37年

*債券先物を含む

公社債の格付別構成比率

格付区分**	構成比率
AAA	7.4%
AA	85.8%
A	6.2%
BBB	0.6%
BB以下	0.0%
合計	100.0%

** S&P格付を優先

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本債券運用チーム)

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

注意事項

変額保険の仕組み
 変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
 *特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

変額保険のリスクについて
市場リスク
 特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

信用リスク
 万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-483	1,000	-451	-21.76	-2.87
平成12年 9月 1日	1,000	-490	1,000	-458	-22.91	-3.07
平成12年 10月 1日	1,000	-470	1,000	-439	-20.71	-2.77
平成12年 11月 1日	1,000	-454	1,000	-424	-18.91	-2.53
平成12年 12月 1日	1,000	-436	1,000	-407	-16.85	-2.26
平成13年 1月 1日	1,000	-419	1,000	-391	-15.01	-2.01
平成13年 2月 1日	1,000	-429	1,000	-400	-16.56	-2.26
平成13年 3月 1日	1,000	-399	1,000	-371	-13.00	-1.76
平成13年 4月 1日	1,000	-381	1,000	-354	-11.04	-1.50
平成13年 5月 1日	1,000	-401	1,000	-373	-13.88	-1.93
平成13年 6月 1日	1,000	-394	1,000	-367	-13.35	-1.87
平成13年 7月 1日	1,000	-382	1,000	-355	-12.14	-1.71
平成13年 8月 1日	1,000	-359	1,000	-333	-9.56	-1.35
平成13年 9月 1日	1,000	-325	1,000	-301	-5.68	-0.79
平成13年 10月 1日	1,000	-284	1,000	-262	-0.85	-0.12
平成13年 11月 1日	1,000	-298	1,000	-275	-2.88	-0.41
平成13年 12月 1日	1,000	-302	1,000	-279	-3.78	-0.54
平成14年 1月 1日	1,000	-302	1,000	-278	-4.08	-0.59
平成14年 2月 1日	1,000	-278	1,000	-256	-1.46	-0.21
平成14年 3月 1日	1,000	-284	1,000	-261	-2.56	-0.38
平成14年 4月 1日	1,000	-295	1,000	-272	-4.33	-0.65
平成14年 5月 1日	1,000	-289	1,000	-266	-3.91	-0.60
平成14年 6月 1日	1,000	-290	1,000	-268	-4.46	-0.69
平成14年 7月 1日	1,000	-258	1,000	-236	-0.77	-0.12
平成14年 8月 1日	1,000	-228	1,000	-206	2.68	0.41
平成14年 9月 1日	1,000	-225	1,000	-203	2.67	0.42
平成14年 10月 1日	1,000	-199	1,000	-178	5.59	0.87
平成14年 11月 1日	1,000	-196	1,000	-175	5.58	0.88
平成14年 12月 1日	1,000	-208	1,000	-186	3.75	0.61
平成15年 1月 1日	1,000	-184	1,000	-162	6.47	1.05
平成15年 2月 1日	1,000	-161	1,000	-138	9.01	1.47
平成15年 3月 1日	1,000	-154	1,000	-132	9.44	1.56



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-150	1,000	-128	9.57	1.60
平成15年 5月 1日	1,000	-163	1,000	-141	7.34	1.26
平成15年 6月 1日	1,000	-175	1,000	-153	5.49	0.96
平成15年 7月 1日	1,000	-189	1,000	-168	3.28	0.59
平成15年 8月 1日	1,000	-197	1,000	-175	1.96	0.36
平成15年 9月 1日	1,000	-203	1,000	-181	0.84	0.16
平成15年 10月 1日	1,000	-203	1,000	-182	0.39	0.07
平成15年 11月 1日	1,000	-212	1,000	-190	-0.99	-0.19
平成15年 12月 1日	1,000	-207	1,000	-186	-0.83	-0.16
平成16年 1月 1日	1,000	-215	1,000	-194	-2.17	-0.44
平成16年 2月 1日	1,000	-224	1,000	-203	-3.56	-0.73
平成16年 3月 1日	1,000	-232	1,000	-211	-4.92	-1.04
平成16年 4月 1日	1,000	-242	1,000	-221	-6.45	-1.39
平成16年 5月 1日	1,000	-239	1,000	-218	-6.48	-1.43
平成16年 6月 1日	1,000	-230	1,000	-209	-5.67	-1.27
平成16年 7月 1日	1,000	-237	1,000	-216	-6.95	-1.59
平成16年 8月 1日	1,000	-222	1,000	-201	-5.43	-1.26
平成16年 9月 1日	1,000	-220	1,000	-199	-5.62	-1.33
平成16年 10月 1日	1,000	-219	1,000	-198	-5.77	-1.39
平成16年 11月 1日	1,000	-214	1,000	-193	-5.56	-1.36
平成16年 12月 1日	1,000	-222	1,000	-201	-6.80	-1.71
平成17年 1月 1日	1,000	-232	1,000	-211	-8.36	-2.16
平成17年 2月 1日	1,000	-230	1,000	-209	-8.46	-2.23
平成17年 3月 1日	1,000	-240	1,000	-219	-9.90	-2.68
平成17年 4月 1日	1,000	-238	1,000	-217	-10.06	-2.79
平成17年 5月 1日	1,000	-223	1,000	-202	-8.69	-2.45
平成17年 6月 1日	1,000	-230	1,000	-209	-9.80	-2.84
平成17年 7月 1日	1,000	-238	1,000	-217	-11.03	-3.28
平成17年 8月 1日	1,000	-245	1,000	-225	-12.20	-3.74
平成17年 9月 1日	1,000	-248	1,000	-228	-12.85	-4.04
平成17年 10月 1日	1,000	-271	1,000	-251	-15.76	-5.14
平成17年 11月 1日	1,000	-264	1,000	-244	-15.29	-5.11
平成17年 12月 1日	1,000	-281	1,000	-280	-17.48	-6.04
平成18年 1月 1日	1,000	-291	1,000	-290	-18.97	-6.77
平成18年 2月 1日	1,000	-299	1,000	-297	-20.10	-7.40



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成18年 3月 1日	1,000	-293	1,000	-291	-19.68	-7.44
平成18年 4月 1日	1,000	-296	1,000	-295	-20.40	-7.96
平成18年 5月 1日	1,000	-292	1,000	-291	-20.23	-8.13
平成18年 6月 1日	1,000	-265	1,000	-264	-17.50	-7.18
平成18年 7月 1日	1,000	-264	1,000	-263	-17.78	-7.53
平成18年 8月 1日	1,000	-262	1,000	-261	-17.79	-7.79
平成18年 9月 1日	1,000	-274	1,000	-291	-19.38	-8.82
平成18年 10月 1日	1,000	-271	1,000	-287	-19.43	-9.16
平成18年 11月 1日	1,000	-272	1,000	-286	-19.81	-9.69
平成18年 12月 1日	1,000	-270	1,000	-282	-19.92	-10.12
平成19年 1月 1日	1,000	-282	1,000	-291	-21.48	-11.39
平成19年 2月 1日	1,000	-287	1,000	-294	-22.31	-12.34
平成19年 3月 1日	1,000	-286	1,000	-291	-22.46	-12.95
平成19年 4月 1日	1,000	-283	1,000	-286	-22.45	-13.52
平成19年 5月 1日	1,000	-286	1,000	-287	-23.05	-14.55
平成19年 6月 1日	1,000	-291	1,000	-289	-23.80	-15.77
平成19年 7月 1日	1,000	-286	1,000	-285	-23.61	-16.43
平成19年 8月 1日	1,000	-271	1,000	-270	-22.29	-16.30
平成19年 9月 1日	1,000	-257	1,000	-256	-21.13	-16.31
平成19年 10月 1日	1,000	-266	1,000	-265	-22.32	-18.29
平成19年 11月 1日	1,000	-264	1,000	-263	-22.47	-19.60
平成19年 12月 1日	1,000	-241	1,000	-240	-20.33	-18.93
平成20年 1月 1日	1,000	-235	1,000	-234	-20.01	-20.01

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

(2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成20年12月末までの運用実績を示したものです。
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。

(3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

